

令和5年7月の自殺者数は、前月比では、北海道、全国（総数・男性・女性）において増加
でした。全国47都道府県の中で、自殺者数が増加したのは23、減少したのは23、変化なしは
1でした。

2. 令和5年7月末と令和4年7月末の月別自殺者数の比較

令和5年7月<北海道 88人、全国 1,716人、全国(男性)1,152人、全国(女性) 564人>
令和4年7月<北海道 104人、全国 1,867人、全国(男性)1,260人、全国(女性) 607人>
前年比 <北海道 -16人、全国 -151人、全国(男性) -108人、全国(女性) -43人>

前年同月比では、北海道、全国（総数・男性・女性）において減少でした。また、全国47
都道府県の中で、自殺者数が増加したのは15、減少したのは28、増減なしは4でした。

◇令和4年における自殺未遂歴の有無別自殺者数（確定値）[警察庁]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

今回は、厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」（発見日・発見地集計）から令和4年中にお
ける自殺未遂歴の有無別自殺者数、総務省消防庁「令和4年版救急・救助の現況」から令和3年中
全国の自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人員の推移について紹介します。

1. 令和4年中における自殺未遂歴の有無別自殺者数

	総数	男性	女性
全国自殺者総数	21,881人(+874)	14,746人(+807)	7,135人(+67)
全国自殺未遂歴あり	4,258人(-40)	2,193人(+67)	2,065人(-107)
全国自殺未遂歴なし	13,970人(+1,200)	9,927人(+992)	4,043人(+208)
全国自殺未遂歴不詳	3,653人(-286)	2,626人(-252)	1,027人(-34)
北海道自殺者総数	984人(+7)	642人(+8)	342人(-1)
北海道自殺未遂歴あり	222人(-10)	110人(±0)	112人(-10)
北海道自殺未遂歴なし	633人(+72)	448人(+63)	185人(+9)
北海道自殺未遂歴不詳	129人(-55)	84人(-55)	45人(±0)

※()内は前年比

令和4年中における自殺者の自殺未遂歴の有無について、前年比を見ると、全国では、“自殺未遂
歴なし”において増加、“自殺未遂歴あり”“自殺未遂歴不詳”において減少でした。男女別に見る
と、男性は“自殺未遂歴あり”“自殺未遂歴なし”において増加、“自殺未遂歴不詳”において減少
となり、女性は“自殺未遂歴なし”において増加、“自殺未遂歴あり”“自殺未遂歴不詳”において減
少でした。

北海道では、前年比を見ると、“自殺未遂歴なし”において増加、“自殺未遂歴あり”“自殺未遂歴

○ 希死念慮経験 (n=14,555)

あり 6,518 件 (44.8%)

なし 8,037 件 (55.2%)

○ 自殺未遂・準備経験 (n=14,553)

あり 2,786 件 (19.1%)

なし 11,767 件 (80.9%)

ii 若年層の希死念慮の背景には、人間関係やいじめ、進路不安の割合が高い
希死念慮の要因になりうる経験 (全7分類 28項目) (複数回答あり)

○ 「いずれも経験したことはない」と回答された件数

全体 (n=14,507) 5,342 件 (36.8%)

希死念慮経験あり群 (n=6,494) 756 件 (11.6%)

希死念慮経験なし群 (n=8,013) 4,586 件 (57.2%)

○ 「人間関係がうまくいかなかった」と回答された件数

全体 (n=14,507) 5,110 件 (35.2%)

希死念慮経験あり群 (n=6,494) 3,341 件 (51.4%)

希死念慮経験なし群 (n=8,013) 1,769 件 (22.1%)

○ 「いじめ被害にあったことがある」と回答された件数

全体 (n=14,507) 3,287 件 (22.7%)

希死念慮経験あり群 (n=6,494) 2,377 件 (36.6%)

希死念慮経験なし群 (n=8,013) 910 件 (11.4%)

○ 「進路に強い不安があった」と回答された件数

全体 (n=14,507) 2,862 件 (19.7%)

希死念慮経験あり群 (n=6,494) 2,033 件 (31.3%)

希死念慮経験なし群 (n=8,013) 829 件 (10.3%)

iii 性被害経験のある人の方が性被害経験のない人に比べて希死念慮が 37%高い

○ 性被害経験あり (n=2,148)

希死念慮経験あり群 76.4%

希死念慮経験なし群 23.6%

○ 性被害経験なし (n=12,407)

希死念慮経験あり群 39.3%

希死念慮経験なし群 60.7%

iv トランスジェンダー/ノンバイナリーの人の方が、シスジェンダー男性/シスジェンダー女

性に比べて性被害経験・希死念慮ともに高い傾向にある

※ シスジェンダー：こころの性とからだの性が一致している人、トランスジェンダー：こころの性とからだの性が一致していない人、ノンバイナリー：性自認が男性・女性という性別のどちらにもはっきりと当てはまらない、または当てはめたくない人

○ シスジェンダー男性 (n=6,063)

希死念慮経験あり群 39.4%

希死念慮経験なし群 60.6%

○ シスジェンダー女性 (n=7,006)

希死念慮経験あり群 47.9%

希死念慮経験なし群 52.1%

○ トランスジェンダー・ノンバイナリー・その他の回答 (n=1,486)

希死念慮経験あり群 52.4%

希死念慮経験なし群 47.6%

v 死にたいと思う若者の半分以上が友人にも誰にも相談していない（複数回答可）

○ 希死念慮が生じた際に打ち明けた・相談した相手 (n=6,605)

どこ（だれ）にも相談しなかった 3,737 件 (56.6%)

友人・同級生 821 件 (12.4%)

母（実母・実母以外の母） 773 件 (11.7%)

恋人・元恋人 512 件 (7.8%)

SNS 上で初めて知り合った人 298 件 (4.5%)

本調査では今回ご紹介した質問項目以外にも様々なデータがまとめられています。興味のある方は下記 URL より原本をご覧になってみてください。

参考文献

「日本財団第 5 回自殺意識調査 報告書」、2023、日本財団のち支える自殺対策プロジェクト、<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/pr/2023/20230406-87204.html>

【3】お知らせ.....

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日（12月29日～1月3日を除く） 10:00～16:00

Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりにくい状態になりますがご了承ください。

◇ 現在北海道でも、こころの SNS（LINE）相談が開設されています。

詳しくは、下記のリンクをご覧ください。

北海道こころの健康 SNS 相談窓口: <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/linesoudan.html>

◇ ホームページをご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターのホームページを開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

ホームページ URL : <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/a0002/>

◇ メールマガジンのご登録内容の変更や解約手続きにつきましては、以下のリンクから行っていただけます。

北海道のメールマガジン URL : <http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

【4】編集後記.....

日本では、自殺対策基本法に基づき、毎年9月10日から16日を「自殺予防週間」、毎年3月を「自殺対策強化月間」と定めて、国、地方公共団体、関係団体等が連携して「いのち支える自殺対策」という理念を前面に打ち出した啓発活動を推進しています。

令和5年においてもポスターの配布や掲示、リーフレットの作成、インターネット広告や動画などが厚生労働省のホームページにて公開されています。

北海道は暑い日が続いております。皆様におかれましては、くれぐれも暑さ対策、水分補給を忘れずに健康に気をつけてお過ごしください。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.171 は、令和5年9月末に配信予定です。

ご質問、ご要望等お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通16丁目北6番34号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp